

平成27年度施策評価調書

整理番号	31
評価担当課	教育部 生涯学習課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	芸術文化振興事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	10	地域文化の継承と創造

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	地域の芸術活動の担い手である団体・グループの創作・発表活動など自主的な諸活動に対して支援するとともに、文化団体の育成に努めます。 活発な文化活動を推進するためには、質の高い優れた芸術にふれる機会の充実が必要であり、近隣市町村との広域ネットワークを活用した芸術文化鑑賞機会の提供・充実に努めます。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	文化協会や舞台芸術劇場実行委員会へ支援することで、市民へ様々なより良い芸術文化の普及、鑑賞機会の提供を期待できるとともに、文化団体への育成の一手となっている。
施策の課題	市民ホールの開館に伴い、これまで以上の芸術文化の普及、鑑賞機会を提供できるよう事業の検討が必要。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
舞台芸術劇場補助金	芸術文化の普及、鑑賞機会の提供(数値は自主事業等入場者数)	目標値	600	1,000	1,200	
		実績値	650	1,227	1,613	
		進捗率	108%	123%	134%	
名寄市文化協会補助金	文化活動の奨励、発表の場の提供	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	実施事業へ補助することで、より良い芸術文化の普及、鑑賞機会の提供をしているが、さらなる充実が必要。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後は、市民ホールの開館に伴い、これまでできなかった事業、鑑賞機会の提供ができるよう努める。また、文化団体への支援も継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	舞台芸術劇場補助金	芸術文化の普及と鑑賞機会の拡大、地域住民による舞台芸術活動の振興を図る	4,575	a	b	b	b	b	B		
2	名寄市文化協会補助金	地域文化の創造と財政的支援により文化の推進が図られる	360	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	31	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課文化振興係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	舞台芸術劇場補助金			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	10	地域文化の継承と創造
		基本事業	2	芸術文化振興事業
		実施計画事業	4	市民協働による芸術文化発信事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	音楽・ダンス・演劇等をはじめとする芸術文化の普及と鑑賞機会の拡大、地域住民による舞台芸術活動の振興を図ること			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	上記目的の趣旨に賛同する団体および個人により組織した、なよろ舞台芸術劇場実行委員会を中心として、音楽・ダンス・演劇等をはじめとする舞台芸術に関する事業を行なう			
意図(どのような成果を期待しているか)	実施事業へ補助することで、より良い芸術文化の普及、鑑賞機会の提供を期待できる			
事業実施主体	なよろ舞台芸術実行委員会			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H21 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 芸術文化鑑賞件数	件	目標	8	9	8		
			実績	8	9	8		
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 自主事業等入場者数	目標	1000	1200	1500	2000		
		実績	1227	1613	1582			
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	2,161	1,854	4,575	20,000	報償費	2,672
国道支出金			674		需用費	403
地方債					役務費	141
その他	961	654	1,101	6,250	借上料	70
一般財源	1,200	1,200	2,800	13,750	負担金	1,230
人件費	0	0	0	0	合計	4,516
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数						
総事業費	2,161	1,854	4,575	20,000		
対前年比(%)	—	86	247	437	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	247	169	564	総事業費÷事業件数	
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	芸術文化の普及と鑑賞機会の拡大、地域住民による舞台芸術活動の振興を図るという観点から適合している。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	目的達成のために有効であるが、適宜実施事業の見直しが必要である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	実施事業の経費は最低限のコストで実施しているが、財源確保等のさらなる努力が必要である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	地域住民に向けての事業実施により適正であるが、適宜実施事業の見直しが必要である。公演等のジャンルの拡大。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	実施事業は最低限実施しているが、集客等課題があるため、適宜実施事業の見直しが必要である。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	実施事業は最低限実施しているが、集客等課題があるため、適宜実施事業の見直しが必要である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	課題に向け、財源確保の努力及び世代、内容、ジャンル等を検討することにより、更なる芸術文化の振興に繋がる。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	31	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課文化振興係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄市文化協会補助金			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	10	地域文化の継承と創造
		基本事業	2	芸術文化振興事業
		実施計画事業	2	文化活動の奨励、発表の場の提供

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市内文化団体の総合連携を図り、地域文化の向上に寄与することを目的とし、財政的支援により文化事業が推進することを期待している。			
対象(何を又は誰を)	名寄市文化協会			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	団体相互の連携と情報交換、各種公演発表などの事業を実施している			
意図(どのような成果を期待しているか)	実施事業へ補助することで、文化事業の推進が期待できる			
事業実施主体	名寄市文化協会			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 補助金交付件数	件	目標	1	1	1		
			実績	1	1	1		
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 文化協会加盟団体数	目標	36	37	34			
		実績	36	37	34			
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	360	360	360	360	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	360	360	360	360	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	360	360	360	360	
対前年比(%)	—	100	100	100	
事業コスト					コストの算出方法
活動指標1	360	360	360		総事業費/事業件数
活動指標2					
活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市内文化団体の総合連携を図り、地域文化の向上に寄与するという観点から適合している。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	目的達成のために有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	実施事業への最低限の補助金となっていることから、削減は困難と思われる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	市内文化団体の支援という観点から適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	実施事業へ補助することで、文化事業の推進に繋がっている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	これからも市内文化団体の総合連携を図り、地域文化の向上の発展に繋がるよう継続する。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり